

『自己改革』取組実践報告

地域の農業とくらしに、必要とされるJAみなみ筑後に。

JAみなみ筑後は、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」を共通の基本目標として捉え、平成28年度から平成30年度の中期経営計画を策定し、創造的自己改革と着実な実践に取り組んでいます。

今回、平成29年度上半期までの取り組み状況をまとめましたのでご報告いたします。

『自己改革』に向け、やるべき事業はたくさんあるけれど、「より地域の農業とくらしのためになることは何か？」を考えれば、すべてが“やらなくてはいけないこと！”。

今まで行ってきた事業も中途半端にはなく、しっかりと完璧に行く。だから必要とされる。だから頑張れる。すべては地域の皆様に愛されるJAを目指すため。そんな想いで・・・。



1. 「農業者の所得増大」と「農業生産の拡大」への挑戦

水田農業の安定経営により農地を守る。

◆集落営農法人の設立支援

各営農組織に担当職員を配置し、組織に出向き法人化への手段や法人化後の運営方法等の説明を行い、法人設立の登記等の準備や農地中間管理事業を活用した法人への農地集積等を支援いたしました。また、農事組合法人設立後の経営支援として、「農事組合法人会」を設立し、顧問税理士による税務指導をはじめとする法人経営に必要な知識の向上や経理の一元化を目的にJA事業利用分の代行記帳による税務申告支援を行いました。



JA職員による援農「あぐり支援隊」。

◆施設ビニール張り・田植え苗渡し支援

高齢化等により、園芸施設のビニール張りや田植え苗渡しなどの作業が厳しい農家組合員の声に応えるため、職員による援農「あぐり支援隊」を立ち上げました。支援作業対象は、70歳以上の高齢農業者、女性みの農業者、単身の農業者を対象としました。平成29年度は32圃場述べ450名の職員が援農作業に汗を流しました。



出荷経費削減により農家所得向上。

◆出荷箱簡素化による生産コスト削減

出荷経費削減による、農家所得の向上を目的に出荷箱簡素化に取り組みました。二重構造だった箱の外側を一重に変えることで経費が安くなり、箱組み作業も短い時間で済みます。箱の強度はほぼ変わらず、輸送試験で最大で約3割、箱代を減らす効果を確かめました。市場向けに出荷した輸送試験では、荷崩れや内容物が傷むような問題は見つからず「通常の物流では十分な強度がある」とJAは判断しています。



2. 「地域活性化」への貢献

青少年の健全育成による地域貢献。

◆JAみなみ筑後旗争奪少年剣道大会

「くらしに豊かさ、心にやすらぎ、地域に根ざしたJAみなみ筑後」をスローガンに剣道大会を通じ青少年の健全育成を目的に開催いたしました。地元の剣道連盟や少年剣道育成会の役員の方々を中心にJAの地域貢献活動を理解していただき、大会運営の協力を得て、平成29年11月に第2回大会を開催しました。



ひととのふれあい、食する大切さ！

◆新たな食農教育『キッズレストラン』

28年度より、新たな食農教育の一環として『キッズレストラン』を開催しました。これは、生活環境の変化による孤食等が大きな問題となっている中で、人とのふれあいや食事する大切さを子ども達に学んでもらい、また、地元農産物を活用し食農に対する理解を深めてもらおうと青年部を中心に女性部、JA職員が連携を図りながら、次世代を担う子ども達を育む取り組みとして始めました。



3. 組合員の「積極的な参加と利用」の促進

組合員の声を聴く「場」づくり！

◆常勤役員による組合員訪問



組合長をはじめとする常勤理事らトップが最寄りの支所や組合員宅を訪問し、ニーズや要望等の意見交換を行う「常勤理事による組合員訪問活動」に取り組んでいます。組合員の生の声を聴いたり、JAトップ経営層の想いを伝えたりすることで、組合員との相互の絆を深め信頼関係の強化を図るのが目的で、まずは、認定農業者や農事組合法人、各生産部会の役員を中心に訪問を行っています。

アクティブメンバーシップの強化。

◆支所ふれあい委員会の活性化と拡充

支所ふれあい委員会を立ち上げ、地域密着イベントを開催しました。

- 瀬高支所(ジャガイモ作り) ●南瀬高支所(交通安全教室・ウォーキング・校区祭)
- 東山支所(校区夏祭) ●山川支所(映画) ●二川支所(節分祭)
- 高田東部支所(ふれあい農園) ●銀水支所(案山子作り)
- 上内支所(秋野菜・ぜんでこ踊り・門松作り) ●三池支所(初市)
- 唐岬支所(野菜づくり・芋ほり・農産物/写真展示)



協同の輪の拡大と農業の応援団化に向けて！

◆組合員加入促進運動

正組合員の年齢構成が高齢となり、今後、世代交代が急加速することが予想されます。また、准組合員については、農業やJAへの理解を深めて頂き『農業の応援団』として位置づけ組合員加入を推進しています。

農業後継者や女性、地域住民を含めた仲間づくりを行い、JA経営基盤強化のため組合員加入運動に取り組んでいます。



4. 「自己改革の着実な実践」を担保する仕組みと「安定経営基盤」の確立

安定経営基盤の確立

◆施設の老朽化対策や遊休資産活用

●施設改修実績

(高田GCキュービクル、愛菜館看板と舗装、高田大牟田農機・ガスセンター事務所、本所キュービクル)

(雨漏修理:本所、山川、上内、唐岬)(外壁改修、銀水)

●遊休地・施設活用実績

(旧南大牟田支所跡地・施設賃貸、旧倉永支所跡地売却、旧生活総合センター跡地売却)



JAみなみ筑後6次産業化の商品

JAの総合力を活かした6次産業化や農産物ブランド化の推進、農産物直売所を核とした地産地消等を更に強化していく必要があり、6次産業化商品の認知度アップ・売上増加等や直売所等での集客・売上増加による農業者の所得増大・農業生産の拡大等をめざし、JAに対する理解を促進しています。

まるごとセロリと卵のスープ

みやま産セロリを使った新商品です！セロリのみずみずしさとまるやかな卵の相性が抜群のスープ。一度飲んだらやみつき！

【通年販売】



山川みかんストレートジュース

高濃度でばらつきのないみかんを厳選使用しました。全部皮をむいてこだわりの製法でしぼった果汁100%ストレートジュース、雑味のないクリアな味です。

【期間限定】



特別純米酒『つやおとめ』

つややかな光沢をもつ減農薬栽培米みやま産の「つやおとめ」を使って仕込みました。みやまの米と水と技で醸した、やや辛口で豊かな旨みとふくらみを持つ特別純米酒です。

【期間限定】



手づくりみそ

農家の主婦で構成されるJAみなみ筑後味噌加工部会が心を込めて作られた手づくり味噌です。原材料は、瀬高・高田の大豆を使用しており添加物は一切入っておりません。

【通年販売】



南筑後農業協同組合（JAみなみ筑後）

福岡県みやま市瀬高町下庄774番地の1

TEL (0944)63-8800 FAX (0944)63-8820